

令和4年9月9日

保護者様

三木市立吉川小学校  
校長 長谷川 珠里

## 吉川小学校 新たなスタートを迎えて（19）

秋風の候、保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育にご理解ご協力をいただき深く感謝いたします。

昨日、修学旅行の説明会を行いました。9月21日（水）から1泊2日で修学旅行に行く準備を進めています。新型コロナウイルス感染症対策として、三木市の全小学校では昨年度から行先を広島県から県内に変更し、修学旅行を実施しています。感染症対策を講じながら、修学旅行以外の学校行事等も行っていきたいと思っております。

引き続き、東吉川小学校と吉川小学校の統合初年度ですので、学校での様子や保護者をお願いしたい事等をお伝えする方法として、本文書をお渡ししています。お読みいただく時間を作ってください、ご確認をお願いします。

なお、本校のホームページにも同様のものをUPしていますので、過去の文書も確認いただけます。必要に応じてご利用ください。

☆学校HP（ホームページ）アドレス <http://www.miki.ed.jp/el/yokawa/>

☆検索窓に「吉川小学校」を入力して検索ください。

### 1 新型コロナウイルス感染症対策と学びの継続

#### （1）授業の様子

9月6日（火）1校時の授業の様子です。

にこにこ学級



ひまわり学級



ひまわり学級



にこにこ学級やひまわり学級の児童は、この時間は個別の学習に取り組んでいます。学習内容や教科により交流学級でも学習します。

1年生



2年1組



2年2組



夏休みの生活リズムから、学校生活のリズムづくりを行っています。ご家庭での起床時間や朝食等については保護者にお任せする事ですので、子ども達の健やかな発育・発達のために、よろしくお願いします。

3年生



4年生



5年1組



5年2組



6年生



学び直しタイム



2学期も新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、学びを継続しています。本人及び家族に発熱等の体調不良があり出席ができない場合は、リモート学習の有無をお聞きしていますので、体調に応じて活用ください。



(2) 陽性者の自宅待機期間の短縮等の対応について

◆ 新型コロナ感染者の新たな療養期間と外出制限の緩和

	0	1	2	3	4	5	6	7	8日目	...	
 <b>症状あり</b> (従来は10日間)	発症日	 自宅などで療養(7日間)							解除		
		  			 ↑症状軽快の24時間後から外出可						
 <b>症状なし</b> (従来は7日間)	検査日	 (5日間)					5日目の検査で陰性なら5日間で解除。検査しなければ従来通り7日間				
		←0日目から外出可									

■ 外出はマスク着用などを条件に、短時間の食料品買い出しなどに限定

① 有症状患者

- ・発症日から7日間経過し、かつ、症状軽快後24時間経過した場合には8日目から解除可能

※10日間が経過するまでは、感染リスクが残存することから、検温など自身による健康状態の確認や、高齢者等ハイリスク者との接触、マスク着用等、自主的な感染予防行動を徹底。症状、治療などにより異なる場合があります

② 無症状患者（無症状病原体保有者）

- ・検体採取日から7日間を経過した場合には8日目に療養解除可能（従前どおり）
- ・5日目の検査キットによる検査で陰性を確認した場合には、5日間経過後（6日目）に解除可能

※7日間が経過するまでは、感染リスクが残存することから、検温など自身による健康状態の確認や、高齢者等ハイリスク者との接触、マスク着用等、自主的な感染予防行動を徹底

③療養期間中の外出自粛について

有症状の場合で症状軽快から24時間経過後又は無症状の場合には、外出時や人と接する際は短時間とし、移動時は公共交通機関を使わないこと、外出時や人と接する際に必ずマスクを着用するなど自主的な感染予防行動を徹底することを前提に食料品等の買い出しなど必要最小限の外出を行うことは差し支えないこと

昨日の修学旅行の説明会では、県教委からの正式通知があるまでは、三木市の学校においては現状のままとお伝えしましたが、その後上記の対応になる旨の通知がありましたのでお知らせしています。

判断に迷われる場合は学校へご相談ください。

### (3) 第53回三木市小・中学生科学作品展等について

本校の5年生の國嶋さんが最優秀賞に選ばれ、銀賞を6年生の山本さん、3年生の國嶋さんが受賞しています。

## 夏休みの自由研究185点紹介

きょうまで三木・青山公民館で作品展

(神戸新聞)

2022(令和4)年  
9月3日

夏休みの自由研究を発表する「第53回三木市小・中学生科学作品展」が2日、同市志染町青山3の青山公民館で始まった。各校で厳選された185点が並び、最優秀賞には、吉川小5年國嶋心琴さんと、吉川中3年工藤さくらさんの作品が輝いた。3日まで。

理科の教員でつくる市科学教育研究会が、身の回り



小中学生の自由研究が並ぶ会場＝青山公民館

で感じた疑問を調べ、理科を好きになつてもらおうと主催。最優秀賞のほか、金賞11点、銀賞32点を選んだ。國嶋さんは、人や車を支える橋の強さに関心を持ち、構造の秘密を探った。アイスの棒を組み合わせて橋を作り、粘土を乗せて強度を計った。長方形や正方形などを試し、最も安定する形は三角形との結論を出した。

工藤さんは、道端に生い茂る雑草「クズ」の効用を研究。食用や染料に加工したほか、繊維を取りだして布やかごを作るなどし、「スーパーな雑草だった!」とまとめた。図表や写真を使い分かりやすくレイアウトしている。

3日の展示時間は午前9時～午後3時。  
(小野萌海)

夏休みの課題としていた読書感想文やポスター等も出品を終えたり、出品準備をしたりしています。この科学作品展も3年ぶりに開催できましたが、表彰式は行われませんでした。これからも感染症対策を講じ、工夫しながら種々の取組を進めていきたいと思ひます。

## 2 欠席連絡の徹底について

朝の会では児童の欠席確認をしています。欠席連絡がなく、登校していない場合は保護者へ連絡し、確認をしています。保護者へ連絡がつかない場合は、家庭訪問をしています。

通学バスに乗っておらず、欠席連絡が無い場合も同様の対応をしています。連絡がないまま保護者が送って来られる事があり、タイムラグがあったり行き違いになったりする事があります。

欠席の連絡や遅刻となる場合も学校へ、必ず学校へ連絡をお願いします。

